

3 北九州チャンピオンズカップ国際車椅子バスケットボール大会の概要

(1) 目的

「2002年世界車椅子バスケットボール選手権大会・北九州(北九州ゴールドカップ)」で培った多国籍の障害者を対象にした大規模スポーツ大会の運営ノウハウを基に、バリアフリーのまちづくり推進とボランティアや市民の参加意識高揚をより一層図っていくとともに、国内競技者の競技力の向上と国際交流を目的に開催する。

(2) 参加国・チーム

第1回から第3回までは、各国の選抜チームにより実施したが、第4回からは、世界各地(ゾーン)を代表するクラブチームによる事実上のクラブ世界一決定戦として実施している。

(3) 同時開催行事

全日本ブロック選抜車椅子バスケットボール選手権大会
全国を8～10ブロックに分け、その選抜チームによる選手権大会

(4) 主な併催行事

小学生車椅子バスケットボール大会
第1回からエキシビションとして実施していたが、第4回からは、正式な競技会として実施することとした。
障害者スポーツ紹介・体験コーナー
学校交流会
大会前に参加チームが小・中学校を訪問して、生徒と交流を図る。

(5) 主催・運営

主催：北九州市、日本車椅子バスケットボール連盟
北九州市障害者スポーツ協会、(社福)北九州市福祉事業団
運営：北九州チャンピオンズカップ国際車椅子バスケットボール大会実行委員会

(6) 開催実績

	日 程	参加国・チーム	入場者数	ボランティア数 (延べ)
第1回	平成15年 11月21日～11月23日	・オーストラリア ・イタリア ・韓国 ・日本	15,540人	1,038人
第2回	平成16年 10月29日～10月31日	・オランダ ・韓国 ・カナダ ・日本	16,262人	1,347人
第3回	平成17年 9月30日～10月2日	・オーストラリア ・アメリカ ・ドイツ ・日本	15,065人	903人
第4回	平成18年 10月27日～10月29日	・RSVランディル(ドイツ) ・チームオンタリオ(カナダ) ・ウエストシドニーレイザーボックス (オーストラリア) ・千葉ホークス(日本)	15,342人	987人
第5回	平成19年 10月26日～10月28日	・パースウィールキャッツ (オーストラリア) ・CMBサンタルチアサポート (イタリア) ・ダラスABCマベリックス (アメリカ) ・千葉ホークス(日本)	15,073人	630人